

山ノ内町立学校づくり準備委員会 会議結果報告書

会 議 名	第3回 山ノ内町立学校づくり準備委員会	
日 時	令和7年7月23日（水） 午後5時30分～午後7時30分	
会 場	山ノ内町文化センター 3階 ホール	
出席・傍聴人数	出席 21人 / 欠席 8人	傍聴者 6人
会議内容	【報告事項】 ・ 前回委員会の会議結果について（資料1） ・ 保護者及び地区懇談会の開催結果（資料2、4） 【会議事項】 (1) 学校統合の開校に向けたコンセプトについて ＜テーマ＞コミュニティ・スクールについて『グループ討議』（資料5） 4グループに分かれコミュニティ・スクールに関する意見を自由に出し合い、新しい学校づくりに向けた意識の共有を図った。 【その他】 ・ 学校づくり準備委員会視察について	
決定事項等	・ 学校づくり準備委員会専門部会員に決定している委員もオブザーバーとして、グループ討議に参加する。 ・ 学校づくり準備委員会の視察を10月1日（水）に実施 ・ 次回準備委員会：令和7年8月26日（火）17：30～	
会議概要及び 質問・意見等	【コミュニティ・スクールについて（グループ討議）】 ○コミュニティ・スクールへの期待と課題 ・ 20～40代子育て世代は平日の学校活動が仕事等により参加しにくい状況。 ・ 事業者と一緒にクラブ活動を行うことで仕事に直結する体験が提供できる。 ・ 特定の人に依存せず仲間を増やし、持続して活動していくことが重要。 ・ 先生の負担を考慮しつつ地域と学校が気軽に話し合える雰囲気作りが重要。 ・ 既存の青年団や消防団が変化している現状を踏まえ、コミュニティ・スクールを支える新しい組織の在り方や参加を促す方法を検討する必要がある。 ○地域の一体感の醸成 ・ 「東西南北」といった地域間分断を解消するため、学校を中心に楽しいイベントを企画し、町全体で積極的に関わる雰囲気づくりが良いと思う。 ・ 「東部」「西部」という呼び方ではなく、地区名（穂波、須賀川等）で呼ぶ。 ・ コロナ禍で減少した地域の祭りや行事について、コミュニティ・スクールを拠点に復活させ、こどもたちに文化を継承する場を提供することが重要。 ・ 大人が楽しめる企画を学校と連携して実施し、こどもたちも一緒に参加することで新しい統合学校が町全体のシンボルとなるようにする。 ・ 中学生が行っている商品開発プロジェクトのように、役場や飲食店等を巻き込んで町づくりを体感する機会はこどもたちが町の愛着を高める上で有効。 【その他意見等】 ・ 住民の意見集約について説明会の開催時期・時間帯や周知方法の課題や SNS の活用、アンケート調査等による意見集約について提案があった。	